

生きる力を育む

町内には、こども園6園（内私立こども園2園）と小学校5校、中学校3校があります。令和4年5月1日現在の各施設の児童・生徒数は、こども園548人、小学校916人、中学校438人です。
特別支援学級は小学校6学級、中学校5学級を設置しています。

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育てる教育を目指しています。

地域で活躍できる
子ども

小山町 金太郎十か条
金太郎のような強い心と体、高い志を持ち、みんなのために役立つ人を目指します。

- 一、あいさつを進んでいます
- 二、きまりを守ります
- 三、みんなと仲良くします
- 四、時間を守ります
- 五、うそや隠しごとはしません
- 六、早寝早起きをして、朝ご飯を食べます
- 七、相手を考えた勉強をします
- 八、毎日、本を読み、言葉づかいをします
- 九、体を進んで動かします
- 十、いろんなことに進んで挑戦します



地域行事への参加



中学生ボランティア



学校の自校式給食

町では、昭和30年に須走小学校で給食を開始し、以降中学まで、自校式の給食を実施しています。地元の食材を取り入れた望ましい食習慣や食生活が身につくように食育の指導を行っています。

また平成31年からは、保護者の負担を軽減するため、公立こども園、小・中学校の給食費の無償化を行っています。

魅力ある学校給食



タブレットを活用した授業

将来の小山町を支える人材確保につなげるため、平成27年度から小山高校の生徒をインターンシップとして小山町役場で受け入れをしています。

小山高校の卒業生は、一般企業のみならず、官公庁、教員、保育士などとなり地元に貢献、活躍をしています。



小山高校生のインターンシップ



町民が生涯にわたり主体的に学習活動が続けられるよう、著名な講師による生涯学習推進講演会や小山町ゆかりの歴史や文化を学ぶ町民講座やふるさと発見講座、子ども向けの教室など幅広い年齢層に向けての趣味教室やスポーツ教室など多種多様な事業を開催しています。

キヤリア教育の推進



教育の情報化

社会生活中でICTを日常的に活用することが当たり前の世の中となる中で、社会で生きていくために必要な資質・能力を育むため、学校の生活や学習においても日常的にICTを活用できるよう、児童生徒一人一台のICTタブレットの環境を整備していま

切れ目のない ライフサポート

流出傾向が続いている若者世代を支援するため、新たに遠距離通学定期券購入費助成、奨学金返還支援助成金などの「ライフサポート事業」を創設しました。

おやまで生まれ育った子どもたちが生き生きと学び、地元で働くための支援を行っています。



町民スポーツ祭

地域の中で充実した 生活や活動



町主催事業やボランティアなどの活動に参加するとポイントに応じて「金太郎博士」「金太郎名誉博士」に認定します。

また、平成28年度には、金太郎ののような強い心と体、高い志を持ち、みんなのために役立つ人を目指すよう、「金太郎十か条」を制定しました。

町では、昭和30年に須走小学校で給食を開始し、以降中学まで、自校式の給食を実施しています。地元の食材を取り入れた望ましい食習慣や食生活が身につくように食育の指導を行っています。

また平成31年からは、保護者の負担を軽減するため、公立こども園、小・中学校の給食費の無償化を行っています。